

令和6年度 自己評価および学校関係者評価書

令和7年3月14日
函館市立東山学校

1 本年度の重点教育目標

温かな心で 仲間と共に 進んで学ぶ子

2 本年度の取組の重点

- 自分の考えをもって表現しながら、丁寧に取り組む子どもの育成
- おだやかに温かく人にかかわる子どもの育成
- 運動の楽しさや心身の健康の大切さを実感できる子どもの育成

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
確かな学力を育む教育の推進	学習習慣及び学習規律の確立による、基礎・基本の習得ができたか。	c	学習規律の定着の定期的な振り返りを行い、実態の交流だけでなく、具体的な指導についても共有する。	A	B	学校評価の結果を厳しく受け止め、改善に向けて努力する様子がうかがえる。
	主体的・対話的に学習に取り組む授業形態・学習過程の工夫ができたか。	b	I C Tを効果的に活用し、子ども主体の学習活動を位置付けた授業を積極的に展開する。	A	A	特になし
	読書活動の充実ができたか。	b	司書や図書ボランティアの協力を一層得ながら、校内読書環境の整備と図書室の有効活用を図る。	A	B	特になし
豊かな心を育む教育の推進	豊かな心と規範意識を育む指導の充実ができたか。	c	異学年交流の充実を図る。挨拶や言葉遣い等、学校全体での共通した指導を継続する。	B	A	現況をしっかりと受け止め、改善を図ろうとしている。
	望ましい人間関係をつくり、集団生活の充実を図る取組の充実ができたか。	b	子ども同士のよりよい関係を形成する活動の場を設定し、かかわりを広げる。	A	A	特になし
	道徳科の授業および体験活動の充実ができたか。	b	意図的な場や機会の設定による体験を通しての、道徳的实践力の育成を図る。	B	A	児童の現状にあった指導の充実を期待する。
健やかな体を育む教育の推進	児童が進んで運動する体育科授業の展開ができたか。	b	I C Tの効果的活用を含む、個々のめあての設定や振り返りにより、運動の楽しさやできた喜びを味わえる授業実践を行う。	A	A	授業実践の改善に期待する。
	教科外体育の充実及び体育的行事の充実ができたか。	b	体力づくり週間等により、全校児童が縄跳びなどの体力向上に取り組む期間を設ける。	A	A	特になし
	保健指導・食育指導の充実ができたか。	a	養護教諭や栄養教諭による学級指導を実施する。	A	A	特になし
相互の連携を密にした地域の教育力の活用	コミュニティ・スクールの取組を行い、家庭・地域と一体となった学校運営を推進できたか。	a	地域と連携した学習活動（生活・総合）を展開し、連携を強化する。	A	A	地域との連携や地域の教育力を活かし、努力している。
業務改善と工夫の実現	学校における業務改善に向けた取組を進めることができたか。	b	業務改善ミッションについて教職員全体で理解し、徹底する。	A	A	改善の様子が徐々にうかがえる。

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。